

8月に接岨湖で開催された

「日本カヌージュニア選手権」などカヌー競技では、地元選手・チームの大活躍が、当町に元気を与え、あらためてカヌー競技の素晴らしさを教えてくれました。11月に開催された「第60回全国お茶まつり」も、2万人余の来場者を迎え、「山のお茶」の魅力や楽しみ方を提供できました。当町でも農林水産大臣賞など上位に多数入賞し産地賞も獲得するなど、川根茶の品質や魅力を全国の発信することができました。

もちろん、こうしたイベント開催だけでは地域が抱える課題の解決にはなりません。21世紀に入り、経済性や効率性を重視したこれまでの社会の仕組みや生活を見直し、自然との新しい関わりや、心豊かで質の高い生活を志向する意識が高まってきました。こうした時代の流れをしっかりとらえ、昨年のイベントの成果も活かしながら、住民と行政が一体となって、多彩な資源を活用しながら個性と魅力ある地域づくりに取り組んでいく、平成19年でありたいと思います。

「新町建設計画」で設定された5主要プロジェクトも、主要幹線道路の整備、光ファイバー網の整備、川根本町総合支所としても活用する「本川根振興センター」の整備など、昨年実現にむけて大きく前進しましたので、今年も精力的に取り組んでいきます。

今年策定される「川根本町総合計画」に基づいて、住民参加・情報公開を大原則として、まちづくりを進めてまいります。

平成19年が町民の皆様にとりまして、幸せ多い年でありますようお願い申し上げます、新年の挨拶いたします。



川根本町長 杉山嘉英